

視察研修先	神奈川県茅ヶ崎市議会	氏名	古沢 清志
視察研修項目	1. 一般質問における重複質問の調整について 2. 各委員会での政策討議について		
感想・所見など <p>茅ヶ崎市の概況について</p> <p>茅ヶ崎市は、寒河江の姉妹都市であります寒川町の隣に位置しており湘南砂丘となだらかな丘陵からなっております。東京や横浜への交通の利便性や恵まれた自然環境を背景に、急激な都市化が進み、現在では人口24万人を超える大きな都市です。</p> <p>視察内容</p> <p>1. 一般質問における重複質問の調整について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議長が議会運営委員会に諮問する。 ・議会運営委員会において重複質問の調整を実施 ・仮通告制を採用し、他の議員が提出した通告書を閲覧できる ・重複があった場合は、議員間で調整する。また通告書を訂正する。 ・最終的に、本通告を提出する。 ・毎定例会後に、反省会を行い、改善を図っていく。 <p>【コンセプト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容が答弁されることのないようにという観点で運用設計されている。 ・項目が重複した場合は角度や観点を変えて、重層的な質問が実現できるように調整する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人の間で重複の調整を行っていたら、通告締切日に別の3人目の人が入り込んで調整が難しくなる。 <p>2. 各委員会での政策討議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの常任委員会ごとに政策提言（素案）を作成する ・素案を基に全員協議会で協議を行う ・議会としての提言書をまとめる ・議長から市長へ提言する。 <p>【流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年間で1つの区切りとして1年目の前半はテーマや抱えている課題等を決める。 ・1年目の後半はアンケートや市民からの意見聴取を行う。 ・2年目からは先進事例の視察を行ったり、調査研究を継続する。 <p>感想・所見</p> <p>一般質問に関しても、以前から問題意識をもっており、改革にとりくんだ結果、一般質問も議案の審査を終了した後に、もってきているようでした。改革を断行するには、かなりのエネルギーが必要と感じてまいりました。</p>			

視察研修先	茨城県取手市議会	氏名	古沢 清志
視察研修項目	1. オンラインを利用した議会運営の取り組みについて 2. ICTを活用した市議会の危機対応の取り組みについて		
感想・所見など			
<p>取手市概況について</p> <p>取手市は、40分ほどで首都圏に行くことができ、首都圏の通勤圏内となっております。昭和40年代の高度経済成長には、公団住宅や宅地開発が進み、また民間大手企業の進出により、人口が急増しました。人口は、10万人を超え、スポーツも盛んな、健康的な街であると感じてまいりました。</p> <p>視察内容</p> <p>1. オンラインを利用した議会運営の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 例えば、公共施設で、整備をしなくてはならない箇所を職員がタブレット端末を現地まで持参し、必要な情報をリアルタイムで映像として送れる。また、Zoom回線を使用しているため、一般の方も視聴でき、非常にいいとの反応でした。 また、最近では、360度回転できるカメラを設置し、見たい箇所を遠隔操作によって、見ることができます。これも審査の大きな武器となっております。 <p>2. ICTを活用した市議会の危機対応の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 取手市も、最近、大きな災害が起きていないため、災害訓練を行う取り組みであった。1.安否確認 2.議員による情報収集の共有等、正副議長が登庁し、災害対策会議を設置するまでの一連の訓練であり、ICT活用の模擬訓練の第1歩であった。 模擬訓練において、議員は、平時においてもLINEを使用しており、実際の訓練でも、指摘された場所に行き、現場の画像を送る訓練をしていた。 連絡のツールとしては、LINEを利用した方が良いとのアドバイスでした。その理由として、電話回線は混雑が予想されるため、不通の状態が起きるとの経験からでした。 <p>感想・所見</p> <p>取手市議会においては、タブレットの使用は、寒河江市議会よりも遅く始めたようでしたが、その使いこなしは、本市よりも、はるかに上をいくものでした。その理由は、良いと思ったこと、使えると思ったことは、どんどん使ってみるといった前向きな姿勢が、大きく前進させているように感じました。</p> <p>本市議会においても、デジタルに臆することなく、チャレンジして、持っているタブレットを市民のため、大いに活用してまいりたいと思います。</p>			